

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	2年1類 (A型)	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
		精選現代文B (東京書籍)	常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 他

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>論理的な文章を通して、筆者の主張がどのような根拠に基づき、どのような論理構成で述べられているかを読み取る。</p> <p>文学的な文章に触れ、人物や情景を表現に即して捉え、登場人物の心情や生き方を理解する。</p> <p>詩や短歌の韻文に触れ、言葉の美しさを学び、感受性を豊かにする。語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにし、適切に表現することを通して理解した内容を深め、発展させる。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。</li> <li>生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。</li> <li>適宜漢字小テストや小論文指導を実施する。</li> </ul>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	<p>評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫</p> <p>評論 「ミロのヴィーナス」 清岡 卓行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。</li> <li>筆者の意見を読み取り、特色ある表現を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。</li> <li>本文中に挙げられている具体例の効果を理解し、要旨を的確に捉える。</li> </ul>
	5	<p>1 学期中間考査</p> <p>小説 「山月記」 中島 敦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。</li> <li>作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。</li> <li>漢文調の文体を味わう。</li> </ul>
	6	<p>評論 「相手依存の自己規定」 鈴木 孝夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語と自我の構造の関係について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。</li> </ul>
	7	<p>1 学期期末考査</p>		

月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9 小論文模試	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	・事前学習をした上で模試に取り組む。
	10 評論 「科学的「発見」とは」 小川 眞里子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、内容を的確に捉える。
	詩 「竹」 萩原 朔太郎 短歌 「牡丹花は一短歌抄」 木下 利玄ほか	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。 ・韻文のリズムや季節を味わう。	・詩歌における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。 ・音読によってリズムを味わい、韻文に親しむ。
	11 評論 「おじいさんのランプ」 宇野 常寛 2学期中間考査	・表現の変革という社会的な主題について考え、様々な例を通して文章を理解する術を身につける。	・時代背景や科学技術の進歩について正しく把握し、作者の主張をしっかりと理解する。
	小論文添削指導 小説 「藤野先生」 魯迅／竹内 好訳	・小論文模試の添削を確認し、小論文を論理的に書く力を養う。 ・作品の理解を通して人間・社会についての洞察を深める。	・自身の書いた小論文を見ながら、小論文の書き方を理解する。 ・時代背景をふまえながら作品を読み、本文の表現に即して登場人物の心理を的確に読み取る。
12 俳句 「プラタナス—俳句抄」 2学期期末考査	・俳句に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・俳句を読み味わい、繊細な表現を通して自らの言語感覚を磨く。	
三 学 期	1 評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二	・専門の分野から論じた問題への関心を高め、文学や社会について考察を加える。	・優れた評論を読んで、個性的な発想や論理性に富んだ表現を学ぶ。
	2 評論 「人間の運命と科学」 長谷川 英祐	・人間存在に科学的側面からアプローチした評論を読み、抽象論に慣れる。	・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。
	3 学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	2年1類 (B型)	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
	精選現代文B (東京書籍)		常用漢字ダブルクリア

科目の到達目標
国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
論理的な文章を通して、筆者の主張がどのような根拠に基づき、どのような論理構成で述べられているかを読み取る。
文学的な文章に触れ、人物や情景を表現に即して捉え、登場人物の心情や生き方を理解する。
詩や短歌の韻文に触れ、言葉の美しさを学び、感受性を豊かにする。語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにし、適切に表現することを通して理解した内容を深め、発展させる。

評価の観点と方法について
・教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。
・生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。
・適宜、漢字テストや問題演習、小論文指導を実施する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫  評論 「ミロのヴィーナス」 清岡 卓行	・想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。  ・筆者の意見を読み取り、特色ある表現を学ぶ。	・逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。  ・本文中に挙げられている具体例の効果を理解し、要旨を的確に捉える。
	5	1学期中間考査  小説 『山月記』 中島 敦	・小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。	・小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。 ・作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。 ・漢文調の文体を味わう。
	6	評論 「相手依存の自己規定」 鈴木孝夫	・言語と自我の構造の関係について考えを深める。	・筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。
	7	問題演習 小論文指導  1学期期末考査	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「科学的「発見」とは」 小川 眞里子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、内容を的確に捉える。
	10	詩 「竹」 萩原 朔太郎 短歌 「牡丹花は一短歌抄」 木下 利玄ほか	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・音読によってリズムを味わい、表現に親しむ。 ・詩歌における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。
		評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二	・現代社会における、スポーツの発展とメディアの関係性を考察する。	・筆者の意見を的確に捉え、メディアが果たす社会の形成を考察する。
		2学期中間考査		
	11	小説 『ころ』 夏目漱石	・人物の心情の推移を的確に読み取り、優れた表現や描写を味わう。	・場面、登場人物の言動、心理を的確に読み取る。 ・作品の構成・主題を読み取り、作中人物の人間像を明らかにする。
	俳句 「プラタナス—俳句抄」	・俳句に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・俳句を読み味わい、繊細な表現を通して自らの言語感覚を磨く。	
	12	問題演習 小論文指導		
		2学期期末考査		
三 学 期	1	小説 『藤野先生』 魯迅／竹内好訳	・作品の理解を通して人間・社会についての洞察を深める。	・時代背景をふまえながら作品を読み、本文の表現に即して登場人物の心理を的確に読み取る。
	2	評論 「「である」ことと「すること」 丸山 眞男	・日本の近代化の特質と問題点を読み取るとともに、現代を生きる私たちの価値観を考える。	・近代化の時代背景を整理しつつ、文化的価値の移行を読み取る。
		小論文指導		・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。
- ・問題演習を適宜実施する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年1類 (C型)	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
		精選現代文B (東京書籍)	常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 他

科目の到達目標
国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
論理的な文章を通して、筆者の主張がどのような根拠に基づき、どのような論理構成で述べられているかを読み取る。
文学的な文章に触れ、人物や情景を表現に即して捉え、登場人物の心情や生き方を理解する。
詩や短歌の韻文に触れ、言葉の美しさを学び、感受性を豊かにする。語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにし、適切に表現することを通して理解した内容を深め、発展させる。

評価の観点と方法について
・教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。
・生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。
・適宜漢字小テストや小論文指導を実施する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫	・想像力による可能性の多様さや芸術の見方について考えを持つ。	・逆説的、比喩的表現に注意し、筆者の意見を理解する。
		評論 「ミロのヴィーナス」 清岡 卓行	・筆者の意見を読み取り、特色ある表現を学ぶ。	・本文中に挙げられている具体例の効果を理解し、要旨を的確に捉える。
	5	1 学期中間考査		
		小説 「山月記」 中島 敦	・小説の虚構性を通して人間存在の意味、人生の在り方について考えを深める。	・小説に描かれた場面や登場人物についての的確に捉える。 ・作中人物の言動、心理を読み取り、人間理解に繋げる。 ・漢文調の文体を味わう。
	6	評論 「相手依存の自己規定」 鈴木 孝夫	・言語と自我の構造の関係について考えを深める。	・筆者の視点や観点を理解し、本文の表現に注意して筆者の意図を的確にとらえる。
	7	1 学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	小論文模試	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	・事前学習をした上で模試に取り組む。
	10	評論 「科学的「発見」とは」 小川 眞里子	・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。	・評論文の構成や論の展開に注意して叙述内容をたどり、内容を的確に捉える。
		詩 「竹」 萩原 朔太郎 短歌 「牡丹花は一短歌抄」 木下 利玄ほか	・詩歌に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。 ・韻文のリズムや季節を味わう。	・詩歌における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。 ・音読によってリズムを味わい、韻文に親しむ。
	11	評論 「おじいさんのランプ」 宇野 常寛 2学期中間考査	・表現の変革という社会的な主題について考え、様々な例を通して文章を理解する術を身につける。	・時代背景や科学技術の進歩について正しく把握し、作者の主張をしっかりと理解する。
		小論文添削指導  小説 「藤野先生」 魯迅／竹内 好訳	・小論文模試の添削を確認し、小論文を論理的に書く力を養う。 ・作品の理解を通して人間・社会についての洞察を深める。	・自身の書いた小論文を見ながら、小論文の書き方を理解する。 ・時代背景をふまえながら作品を読み、本文の表現に即して登場人物の心理を的確に読み取る。
	12	俳句 「プラタナス—俳句抄」  2学期期末考査	・俳句に表現された作者の心情を的確に読み取り、鑑賞力を高める。	・俳句を読み味わい、繊細な表現を通して自らの言語感覚を磨く。
三 学 期	1	評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二	・専門の分野から論じた問題への関心を高め、文学や社会について考察を加える。	・優れた評論を読んで、個性的な発想や論理性に富んだ表現を学ぶ。
	2	評論 「人間の運命と科学」 長谷川 英祐	・人間存在に科学的側面からアプローチした評論を読み、抽象論に慣れる。	・論理の構成や展開を意識し、小論文を書く力を養う。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・大学入試に対応するための読解力を目指し、論理的思考を養う。
- ・文章表現の練習を計画的に行い、小論文の力を養成する。
- ・適宜問題集で演習を行い、読解力を養う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年・2類・文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
		精選現代文(東京書籍)	漢字問題集・現代文記述問題集・文学史テキスト等

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として、論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力を確かなものにする。</p> <p>さまざまな文学的文章表現を吟味して表現の豊かさを学び、自己の言語表現の可能性を広げる。</p> <p>語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。</p> <p>適宜、入試対策として問題演習を行い、記述問題に対する対応力を養う。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>教科書の各単元教材の理解の度合を定期考査で検証する。その際、授業内容の理解のみにとどまらない、応用力や実践的な学力につながるような問題作成にも努める。他、漢字問題集を用いての漢字小テストを評価の一部とする。</p> <p>文学史も範囲を決めて定期考査に組み込み、成績に加味する。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	<p>評論</p> <p>「世界をつくり替えるために」 小林 康夫</p> <p>「ミロのヴィーナス」 清岡卓行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の独創的なものの見方や特色のある表現を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論の構成や展開を理解し、人間に対する筆者の考えを読み取る。</li> </ul>
	5	<p>小説「山月記」 中島 敦</p> <p>問題演習①</p> <p>1学期中間考査</p> <p>評論</p> <p>「相手依存の自己規定」 鈴木 孝夫</p> <p>「科学的『発見』とは」 小川 眞理子</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説作品の優れた表現を読み味わう。</li> <li>・筆者の主張や思考を理解し、新たな知見を得て、社会や生き方を見つめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。</li> <li>・評論を読んで、筆者の着眼点を明らかにし、論の展開を正確につかむ。</li> </ul>
	6	<p>詩「永訣の朝」 宮澤 賢治</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。</li> <li>・鑑賞力を養い、それぞれの作品の豊かな表現を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。</li> <li>・詩における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。</li> </ul>
	7	<p>問題演習②</p> <p>1学期末考査・夏期講習</p>		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二  小論文テキスト・小論文模試	・専門の分野から論じた問題への関心を高め、文学や社会について考察を加える。	・優れた評論を読んで、個性的な発想や論理性に富んだ表現を学ぶ。  ・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。
	10	小説 「こころ」 夏目 漱石 (前半)  問題演習③ 2学期中間考査	・作者の人間理解を通して人生への関心を深め、自己の形成に資する。	・長編小説における作中人物の性格や心理を読み取り、人間の内面の奥深さを味わう。 ・登場人物の行動、心理、性格を読み取り、作者のものの見方、感じ方を理解する。
	11	小説 「こころ」 夏目 漱石 (後半) 「日本人の美意識」 高階 秀爾  問題演習④ 2学期末考査・冬期講習	・長編小説の主題を正確に掴み、人間の利己心や心の弱さについて考える契機とする。  ・抽象的な表現を、様々な具体例を通じて理解し、自身が抽象的な物事を言語化する力を養う。	・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。さらに、社会と自身の生き方を見つめる。  ・抽象論を論旨に沿って理解し、日本人の性格について考える。
	12			
三 学 期	1	評論 「言語と記号」 丸山圭三郎	・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。 ・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	2	小説 「檸檬」 梶井基次郎	・鋭い言語感覚、優れた表現効果を味わう。	・独特の世界観や内面表現を通じて、ユーモアに富んだ小説を味わう。
	3	評論 「環境問題と孤立した個人」 河野哲也  問題演習⑤ 学年末考査	・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。	・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・漢字の小テストを実施し、評価に組み込む。
- ・文学史を定期考査の課題範囲として出題する。
- ・小論文入試・論述問題を視野に入れながら、計画的に文章表現の練習を行い、添削講座にも参加する。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
		精選現代文(東京書籍)	漢字問題集 文学史テキスト等

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として、論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、評論文に対する読解力を確かなものにする。</p> <p>さまざまな文学的文章表現を吟味して表現の豊かさを学び、自己の言語表現の可能性を広げる。</p> <p>語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにする。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>教科書の各単元教材の理解の度合を定期考査で検証する。その際、授業内容の理解のみにとどまらない、応用力や実践的な学力につながるような問題作成にも努める。他、漢字問題集を用いての漢字小テストを評価の一部とする。</p> <p>文学史も範囲を決めて定期考査に組み込み、成績に加味する。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	評論 「世界をつくり替えるために」 小林 康夫 「ミロのヴィーナス」 清岡卓行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の独創的なものの見方や特色のある表現を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論の構成や展開を理解し、人間に対する筆者の考えを読み取る。</li> </ul>
	5	小説「山月記」 中島 敦 1学期中間考査 評論 「相手依存の自己規定」 鈴木 孝夫 「科学的『発見』とは」 小川 眞理子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説作品の優れた表現を読み味わう。</li> <li>・筆者の主張や思考を理解し、新たな知見を得て、社会や生き方を見つめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説の場面展開を的確に読み取り、その作品の主題について考える。</li> <li>・評論を読んで、筆者の着眼点を明らかにし、論の展開を正確につかむ。</li> </ul>
	6	詩「永訣の朝」 宮澤 賢治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学を新しい角度からとらえ直し、人間存在についての考えを深める。</li> <li>・鑑賞力を養い、それぞれの作品の豊かな表現を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。</li> <li>・詩における言葉の働きやそれぞれの作品の表現上の特徴を理解する。</li> </ul>
	7	1学期末考査・夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	評論 「消費されるスポーツ」 多木 浩二  小論文テキスト・小論文模試	・専門の分野から論じた問題への関心を高め、文学や社会について考察を加える。	・優れた評論を読んで、個性的な発想や論理性に富んだ表現を学ぶ。  ・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。
	10	小説 「こころ」 夏目 漱石 (前半)  2学期中間考査	・作者の人間理解を通して人生への関心を深め、自己の形成に資する。	・長編小説における作中人物の性格や心理を読み取り、人間の内面の奥深さを味わう。 ・登場人物の行動、心理、性格を読み取り、作者のものの見方、感じ方を理解する。
	11	小説 「こころ」 夏目 漱石 (後半) 「日本人の美意識」 高階 秀爾  2学期末考査・冬期講習	・長編小説の主題を正確に掴み、人間の利己心や心の弱さについて考える契機とする。  ・抽象的な表現を、様々な具体例を通じて理解し、自身が抽象的な物事を言語化する力を養う。	・評論を論理の展開に沿って読み取り、筆者の見解を理解する。さらに、社会と自身の生き方を見つめる。  ・抽象論を論旨に沿って理解し、日本人の性格について考える。
	12			
三 学 期	1	評論 「言語と記号」 丸山圭三郎	・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。 ・抽象的な言語論に慣れ、高度な読解力を身につける。	・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	2	小説 「檸檬」 梶井基次郎  評論 「環境問題と孤立した個人」 河野哲也	・鋭い言語感覚、優れた表現効果を味わう。  ・抽象的な問題について論理的に考える力を養う。	・独特の世界観や内面表現を通じて、ユーモアに富んだ小説を味わう。  ・普遍的な事象を特定の角度からとらえた評論を読み、言葉や人間についての認識を深める。
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・漢字の小テストを実施し、評価に組み込む。
- ・文学史を定期考査の課題範囲として出題する。
- ・小論文入試・論述問題を視野に入れながら、計画的に文章表現の練習を行い、添削講座にも参加する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代文	3	2年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
	新編現代文B (東京書籍)	「常用漢字ダブルクリア」(尚文出版) 他	

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合における学習を基礎に、近代以降の様々な文章に見られる論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方を広め、評論文の読解力を高める。</p> <p>様々な文学的表現に触れ、表現の豊かさを学び、自己の言語表現の可能性を広げる。語句の意味、用法を理解し、語彙量を豊かにする。</p> <p>目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現すること、また読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の単元教材ごとに読解力、鑑賞力、語彙力等が備わっているかを各定期考査で検証する。</li> <li>生徒全体の理解の度合いの検証とともに、生徒個々の理解の伸長、遅滞にも留意する。</li> <li>小論文を提出させ評価の一部とする。</li> </ul>
---

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	随想 「こそそめスープ」 (村田沙耶香)	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考え方や感じ方を的確に読み取る。</li> <li>個性的な表現を味わい、随想の魅力を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。</li> <li>桜に対する日本人独自の感覚と筆者の思いを業平の短歌や筆者自身の短歌を通して理解する。</li> </ul>
	5	「さくらさくらさくら」 (俵万智)		
		1学期中間考査		
		評論 「生命とは何か」 (長沼毅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な現象から生命という現象に興味を持ち、科学評論に親しむ。</li> <li>文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な具体例から、生物学への論理の流れを理解する。</li> <li>筆者の考える「生命活動の本質」を捉える。</li> </ul>
	6	「『ふしぎ』ということ」 (河合隼雄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な問題について自分の力で考える態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体例を参考にしながら、筆者の主張を的確に捉える。</li> </ul>
	7	詩歌 「一つのメルヘン」 (中原中也)	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩のリズムや表現の特色を味わう。</li> <li>作品に託されたイメージを通じて、作者の心情を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>透明で幻想的なイメージの中に漂う中也の心を読み取る。</li> <li>「かげろうの卵」のイメージによってもたらされた「いのち」の神秘性を読み味わう。</li> </ul>
		1学期期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	
二 学 期	9	小論文模試	・言葉で表現することへの意欲を持ち、効果的な表現を考えて書く力を養う。	・事前学習をした上で模試に取り組む。	
	10	小説 「山椒魚」(井伏鱒二)	・寓話的な小説の世界を味わい、その主題と構想を探る。	・山椒魚や蛙の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。	
		2学期中間考査			
		小論文添削指導	・小論文模試の添削を確認し、小論文を論理的に書く力を養う。	・自身の書いた小論文を見ながら、小論文の書き方を理解する。	
	11	評論 「思考の肺活量」 (鷲田清一)	・表現に注意して読み、提示された問題を的確に捉える。	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。	
12	「安心について」 (廣淵升彦)	・主題の言葉を考察することで、様々な国の文化や生き方を考える。	・登場人物にとっての「安心」がそれぞれ何を意味するのか、的確に読み取る。		
		12	詩歌 「信濃路【短歌】」	・朗読を通してリズムを味わい、短歌に描かれた情景や心情を豊かに想像する。	・短歌における言葉の働きを知り、表現上の特色を理解する。 ・それぞれの短歌における対象の捉え方の違いや、作品独自の面白さを指摘する。
			2学期期末考査		
三 学 期	1	小説 「みどりのゆび」 (吉本ばなな)	・登場人物の心情や人間関係を表現に即して読み取り、自身の生活を振り返る。	・登場人物の交流を通じて、生と死の意味を考え、自身の日常生活を振り返る。	
	2	随想 「分からないからおもしろい」 (木内昇)	・筆者の仕事に対する姿勢を読み取り、仕事の持つ面白さを感じる。	・筆者の体験を整理し、道を究めるために必要だと筆者が考えているものを把握する。	
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・学習課題ノートの問題に取り組み、国語の基礎力・応用力を養成する。
- ・文章表現の練習を適宜行い、小論文の力を養成する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典B	3	2年1類A・C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
	精選古典B(東京書籍)	古文単語 330 (いいずな書店) 古典文法クリアノート (尚文出版)	

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的実施、課題テストと併せて、評価の一部とする。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	説話『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遊びの面白さを知る。</li> <li>説話に叙述された世界を読み味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞「る」「らる」「す」「さす」「しむ」「じ」を理解させる。</li> <li>言葉遊びの面白さがどこにあるのかを読み取らせる。</li> </ul>
	5	説話『古今著聞集』 「能は歌詠み」  1学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌二首の共通点を理解する。</li> <li>登場人物の言動から、その人物の心情を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌で詠まれてきた伝統的な季節の景物を把握させる。</li> <li>説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえさせる。</li> </ul>
	6	漢文『十八史略』 「先従隗始」  物語『伊勢物語』 「初冠」「渚の院」	<ul style="list-style-type: none"> <li>故事成語の由来を正しく理解する。</li> <li>登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文に慣れ、訓読上のきまりをより正しく理解させる。</li> <li>話の内容を正確に理解させる。</li> <li>助動詞「らむ」「けむ」「べし」「まじ」「らし」を理解させる。</li> <li>歌物語を読み、登場人物の心情や行動について考えさせる。</li> </ul>
	7	随筆『枕草子』 「中納言参り給ひて」  1学期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>作者の機知あふれる対応を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆を読み、登場人物のやり取りを理解させ、作者のどのような点が機知に富んでいるのか考えさせる。</li> </ul>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	日記『更級日記』 「門出」 「物語」	・作者の生き方やものの見方、 感じ方を知る。	・敬語表現の基本的な知識を得させ る。 ・日記を読み、物語に対する作者の 思いを読み取らせる。
	10	漢文 『十八史略』「完璧而帰」 『史記』「四面楚歌」	・登場人物の性格や生き方を通 して、人間のあり方や運命に ついて関心を深める。	・話の展開を読み取りながら、古代 中国の歴史の劇的な面白さを感じ させる。
	11	2学期中間考査		
		物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」	・場面設定や自然描写などを確 かめながら、物語の世界を読 み味わう。	・『源氏物語』の世界に親しみ、登 場人物のものの見方や心情の推 移を読み取らせる。
	12	和歌「万葉秀歌」、「王朝 秀歌」など	・歌謡独特の表現を味わい、作 者のものの感じ方を理解す る。	・優れた和歌を鑑賞し、歌謡に託さ れた庶民の生活感情を理解させる。
	漢文「春夜宴桃李園序」  2学期末考査	・中国の文章を通して、筆者の 主張を捉え、さまざまなもの の見方、考え方に触れる。	・文章の構成や展開を理解させ、論 旨を的確に捉えさせる。	
三 学 期	1	歴史物語『大鏡』 「道長、伊周の競射」 「三船の才」	・登場人物の境遇や心情がどの ように表現されているかを読 み取る。	・歴史物語を読み、登場人物が政治 の世界でどのように生きたかを 理解させる。
	2	漢文 儒家と道家 『論語』『孟子』『老子』 など	・中国の思想を通して、人間の 生き方やあり方についての思 索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさ まざまな思想を読み取る。
	3	学年末考査		
<p>その他（履修上の留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、古文は音読・本文書写・古文単語や助動詞の意味調べを行い、漢文は音読・書き下し文をしておくこと。</li> <li>・古文単語小テストを毎週実施し、成績に組み込む。</li> </ul>				

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	2	2年・1類・B型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
		精選古典(東京書籍)	古文単語帳 等

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p> <p>また、半数ほどの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的に実施、学期毎の課題テストと併せて、評価の一部とする。</p> <p>文学史も範囲を決めて定期考査に組み込み、成績に加味する。</p>
---

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『古今著聞集』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話に叙述された世界を読み味わう。</li> <li>・助動詞を学習し、理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。</li> </ul>
	5	助動詞① 物語『伊勢物語』 漢文 「先従隗始」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。</li> <li>・登場人物の考え方を理解し、話の面白さを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。</li> <li>漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。</li> </ul>
		1 学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。</li> <li>・助動詞を学習し、理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。</li> </ul>
	6	日記『更級日記』 漢文 史記「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。</li> <li>・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読み、作者の心情を読み取る。</li> <li>・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。</li> </ul>
		1 学期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	助動詞③ 日記『蜻蛉日記』  物語『大鏡』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を学習し、理解する。</li> <li>・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。</li> <li>・歴史物語の描写に触れ、作者の視点を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読み、作者の心情を理解する。</li> <li>・『大鏡』を読み、登場人物の心情や行動について考える。</li> </ul>
	10	漢文 思想（人間論）  2学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。</li> </ul>
	11	敬語法  物語『源氏物語』(一) 「光源氏の誕生」 「若紫」  2学期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語法を学習し、理解する。</li> <li>・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の種類、敬意の対象</li> <li>・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。</li> </ul>
	12			
三 学 期	1	説話 『十訓抄』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み、作者の生き方や人生観を読み取る。</li> </ul>
	2	日記 『紫式部日記』 『和泉式部日記』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆の表現上の特色を知る。</li> <li>・作者のものの見方、感じ方を知り、日記の世界を読み味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読み、作者の境遇を確かめながら、作者の心情を理解する。</li> </ul>
	3	学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・ 予習として、古文は音読・本文書写・口語訳を、漢文は音読・書き下し文・口語訳をしておくこと。
- ・ 古文単語小テストを毎週実施し、成績に組み込む。
- ・ 文学史を定期考査の課題範囲として出題する。
- ・ 適宜課題及び課題テストを課して評価に加味する。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	4	2年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	精選古典(東京書籍)	古文単語帳 記述問題集等	

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p> <p>また、殆どの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。適宜、入試対策として問題演習を行い、記述問題に対する対応力を養う。</p>
---

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的に実施、学期毎の課題テストと併せて、評価の一部とする。</p> <p>文学史も範囲を決めて定期考査に組み込み、成績に加味する。</p>
---

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『古今著聞集』・『宇治拾遺物語』 物語『伊勢物語』 漢文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話に叙述された世界を読み味わう。</li> <li>・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。</li> <li>・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。</li> </ul>
	5	「不死之薬」「先従隗始」  問題演習① 1学期中間考査 随筆『枕草子』 『徒然草』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の考え方を理解し、話の面白さを味わう。</li> <li>・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。</li> </ul>	<p>漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。</li> </ul>
	6	日記『更級日記』 『蜻蛉日記』 漢文 「完璧而帰」 唐詩 史記「四面楚歌」 問題演習② 1学期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。</li> <li>・近体詩の形式にしたしむと共に漢詩を読むたのしさを知る。</li> <li>・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。</li> <li>・漢文の句法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読み、作者の心情を読み取る。</li> <li>・詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。</li> <li>・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。</li> <li>・漢文句法演習</li> </ul>
	7	夏期講習		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	物語『大鏡』 物語『源氏物語』(一)  漢文 思想 (人間論)	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・『大鏡』を読み、登場人物の心情や行動について考える。 ・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。
	10	問題演習③  2学期中間考査 説話 『十訓抄』	・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。  ・随筆の表現上の特色を知る。	・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。  ・随筆を読み、作者の生き方や人生観を読み取る。
	11	日記 『紫式部日記』 『和泉式部日記』	・作者のものの見方、感じ方を知り、日記の世界を読み味わう。	・日記を読み、作者の境遇を確かめながら、作者の心情を理解する。
	12	問題演習④ 2学期末考査  冬期講習	・古典文法	・古典文法演習
	1	物語『源氏物語』(二)	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。
三 学 期	2	漢文 思想 『莊子』『論語』『孟子』 『老子』『韓非子』 問題演習⑤ 学年末考査	・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。
	3			

その他 ( 履修上の留意点・大学等進学のための学習など )

- ・ 予習として、古文は音読・本文書写・口語訳を、漢文は音読・書き下し文・口語訳をしておくこと。
- ・ 古文単語小テストを毎週実施し、成績に組み込む。
- ・ 文学史を定期考査の課題範囲として出題する。
- ・ 適宜課題及び課題テストを課して評価に加味する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	3	2年・2類・理型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		精選古典(東京書籍)	古文単語 等

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として論理的思考の過程やその表現、構成を学び、ものの見方、考え方の発展につなげるとともに、読解力を確かなものにする。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎力を固め、さまざまな古典を読み味わうとともに、古文の解釈力を高める。</p> <p>また、殆どの生徒が、大学入試で古典を必要としているので、それに対応できる学力を身につけさせたい。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古文教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合を定期考査で検証する。</p> <p>なお、古文単語小テストを定期的に実施、学期毎の課題テストと併せて、評価の一部とする。</p> <p>文学史も範囲を決めて定期考査に組み込み、成績に加味する。</p>
---

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	説話『古今著聞集』・『宇治拾遺物語』 物語『伊勢物語』 漢文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話に叙述された世界を読み味わう。</li> <li>・自然や人間についての古人の優れた感性を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話を読み、その構成や展開に即してあらすじをとらえる。</li> <li>・話の展開に即して、内容を正確に読み取る。</li> </ul>
	5	「不死之薬」「先従隗始」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の考え方を理解し、話の面白さを味わう。</li> </ul>	<p>漢文の基礎を復習しながら、教訓的な話に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。</li> </ul>
		1 学期中間考査 随筆『枕草子』 『徒然草』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。</li> </ul>
	6	日記『更級日記』 『蜻蛉日記』 漢文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。</li> <li>・近体詩の形式にしたしむと共に漢詩を読むたのしさを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読み、作者の心情を読み取る。</li> </ul>
		「完璧而帰」 唐詩 史記「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。</li> <li>・話の展開を読み取りながら、古代中国の歴史の劇的な面白さを味わう。</li> </ul>
	7	1 学期末考査 夏期講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の句法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文句法演習</li> </ul>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	物語『大鏡』 物語『源氏物語』(一)  漢文 思想 (人間論)	・登場人物の境遇や心情がどのように表現されているかを読み取る。	・『大鏡』を読み、登場人物の心情や行動について考える。 ・『源氏物語』の世界に親しみ、登場人物のものの見方や心情の推移を読み取る。
	10	2学期中間考査 説話 『十訓抄』	・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。
	11	日記 『紫式部日記』 『和泉式部日記』	・作者のものの見方、感じ方を知り、日記の世界を読み味わう。	・随筆を読み、作者の生き方や人生観を読み取る。  ・日記を読み、作者の境遇を確かめながら、作者の心情を理解する。
	12	2学期末考査  冬期講習	・古典文法	・古典文法演習
	1	物語『源氏物語』(二)	・場面設定や自然描写などを確かめながら、物語の世界を読み味わう。	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動や心情を読み取る。
三 学 期	2	漢文 思想 『莊子』『論語』『孟子』 『老子』『韓非子』	・中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。	・人間や政治をめぐる古代中国のさまざまな思想を読み取る。
	3	学年末考査		

その他 ( 履修上の留意点・大学等進学のための学習など )

- ・ 予習として、古文は音読・本文書写・口語訳を、漢文は音読・書き下し文・口語訳をしておくこと。
- ・ 古文単語小テストを毎週実施し、成績に組み込む。
- ・ 文学史を定期考査の課題範囲として出題する。
- ・ 適宜課題及び課題テストを課して評価に加味する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
古典	2	2年3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		標準古典A物語選 (第一学習社)	

<p>科目の到達目標</p> <p>国語総合での学習を基礎として、より多くの古典作品に触れることで、ものの見方、考え方の発展につなげる。</p> <p>古文単語や文語文法などの古文解釈の基礎を学び、古典を読み味わう力を養うとともに、現代の生活に活かせる古人の知恵を身につける。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>古典教材の学習を中心に、古文解釈力の伸長の度合いを定期考査で検証する。</p> <p>定期考査と平常点（小テスト・提出物など）により、総合的に評価する。また創作活動などに於いては意欲や授業に対する積極性を対象とし、平常点として考慮していく。</p>
---

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
学期	4	説話『古本説話集』 「平中が事」	・説話を通じて古文の世界に親しむ。	・説話文学の特色を理解し、説話の面白さを理解する。
	5	『古今著聞集』「小式部内侍が大江山の歌の事」  1 学期中間考査	・和歌の詠まれた背景を学び、平安朝の貴族の生活と当時の人々の心情に触れる。	・「係り結び」とその効果を理解する。 ・和歌の修辞を理解する。
	6	物語『伊勢物語』 「初冠」  随筆『徒然草』 「公世の二位のせうとに」	・歌物語の和歌がどのような役割を果たしているかを知り、風流を愛した当時の人々の心に触れる。  ・自然や人間についての古人の優れた感性に触れる。	・歌物語の特色を理解し、和歌に込められた登場人物の心情を読みとる。  ・随筆を読み、作者のものの見方・考え方を理解する。
	7	漢文 故事 『孟子』「助長」	・漢文訓読の基本について理解させる。漢文を読む面白さを感じさせる。	・訓点の基礎を学び、自分で書き下し文に出来るようにする。
			1 学期末考査	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	随筆『方丈記』 「ゆく川の流れ」	・作者の価値観に触れ、自己のもの の見方、感じ方を豊かにする。	・随筆文学の独特の音律や表現を理 解し、時代背景や登場人物の心情 について把握する。
	10	随筆『枕草子』 「中納言参り給ひて」		
	11	2学期中間考査  日記『更級日記』 「門出」	・中古の日記文学を通じて、当時 の生活と信仰を学ばせる。	・作者の回想している事柄を読み取 り、その生活と心情について理解 を深める。
	12	漢文 故事 『歴代名画記』『画竜点睛』 『唐詩紀事』『推敲』  2学期末考査	・登場人物の考え方を理解し、話 の面白さを感じさせる。	・話の展開に即して、内容を正確に 読み取る。
三 学 期	1	軍記『平家物語』 「忠度の都落ち」	・和漢混交文で記された軍記物語 の特徴を理解させる。	・登場人物の置かれている立場、心 情を理解する。
	2	和歌 「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」	・和歌を鑑賞し、味わう態度を身 に付けさせる。	・優れた和歌を味わい、和歌の修辭 法について復習し、歌風や文学史 についても知識を確認する。
	3	近体の詩「絶句」「洞庭に 臨む」	・近体詩の基本について理解させ る。漢詩を読む楽しさを知らせる。	・詩に詠まれた自然に対する作者の 思いとその人生について考える。
		学年末考査		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

生きた日本語を身につけさせるようにするため、単に読んで理解するという段階にとどまらず、それを受けて、自分の考え方を表現し、他者へ伝達する方法としての言葉を意識させる。

漢字力・語彙力強化に力を注ぎ、故事成語などを中心に、日本語の正しい知識も身につけさせる。